



1. 研究課題名：
ネオニコチノイド農薬による陸域昆虫類に対する影響評価
研究
2. 研究代表者氏名及び所属：
中牟田潔（千葉大学大学院 園芸学研究科）

3. 研究実施期間：平成 26～28 年度

4. 研究の趣旨・概要

近年、ネオニコチノイド系殺虫剤による生態系影響が大きな環境問題として注目を集めている。しかし、実際に環境中で曝される低濃度暴露の影響評価は進んでおらず、その影響実態を緊急に明らかにする必要がある

そこで、ネオニコチノイド系殺虫剤の生態影響の実態を解明するため、①農業環境周辺に生息する様々な昆虫類に対する影響を、室内実験および農業環境において評価する、②マルハナバチ類に対する影響を室内実験および半野外環境において評価する、③野生ニホンミツバチに対する影響評価を農業環境周辺部にて行う。

その結果、環境政策における生態リスク評価・管理手法への提言が期待される。

5. 研究項目及び実施体制

サブテーマ 1：陸域昆虫類のネオニコチノイド感受性の種間差および生態リスク管理に関する研究（千葉大学）

サブテーマ 2：マルハナバチ類に対する影響評価（国立環境研究所）

サブテーマ 3：ニホンミツバチ野生個体群に対する影響評価（森林総合研究所）

6. 研究のイメージ

ネオニコチノイド農薬による陸域昆虫類に対する影響評価研究

サブテーマ1: 陸域昆虫類のネオニコチノイド感受性の種間差および生態リスクに関する研究



室内における感受性の種間差評価

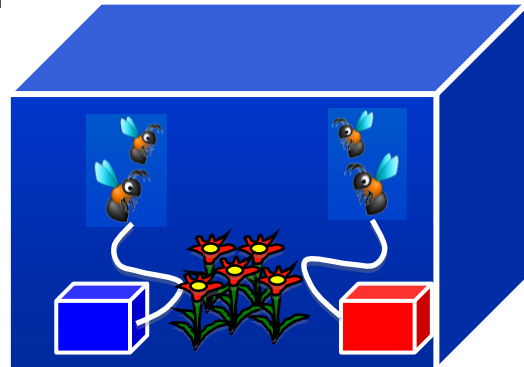


農業環境周辺部における昆虫群集への影響評価

サブテーマ2: マルハナバチ類に対する影響評価



マルハナバチ類に対する室内毒性試験



マルハナバチ・コロニーに対する半野外影響評価

サブテーマ3: ニホンミツバチ野生個体群に対する影響評価



農薬施用の圃場近隣に巣箱を設置し、影響評価

